

富士常葉大学公開講座開催要項

富士常葉大学の公開講座は、「学び」に加え、その「時」を共有する出会いの「場」でもあります。受講生の皆様の探究心にお応えするため、毎回のテーマに沿った講座を開講し、本学の特性を活かしたユニークな講師陣とより繋がりを強くしていただきたいと思います。

日本はもちろん世界は多様な問題に直面しています。21世紀に生きる私たちは、20世紀に起こった様々な天災人災を乗り越えてきた叡智を駆使し、科学技術の力を形にし、次世代へ生きる命のために持続可能な世界を築いていかなければなりません。そこで今年度は「共生」をキーワードに22世紀に残せる未来を富士常葉大学の研究者と考えて参りましょう。

全体テーマ	安心で安全に生きるために—新たな「共生」社会を考えよう—	
主催者	富士常葉大学	
スケジュール	<input type="checkbox"/> 10月27日(土) 総合経営学部 講演 1 10時30分～ 社会環境学部 講演 2 10時30分～ 総合経営学部 講演 3 13時～ 社会環境学部 講演 4 13時～ <input type="checkbox"/> 10月28日(日) 保育学部 講演 5 10時30分～ 保育学部 講演 6 13時～	
会場	「富士常葉大学」富士市大淵325	定員 約50名 参加料 無料
申込方法	次の5項目をご記入の上、Eメール、FAX、ハガキまたは電話でお申し込みください。 ①講座名 ②氏名(ふりがな) ③住所(郵便番号も) ④電話番号 ⑤年齢 ※親子で受講される場合は、こどもの氏名・学年も記入してください。	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・申込受付期間終了後、講座についての案内を応募者全員に郵送いたします。 ・当日参加も受け付けますが準備が必要なため、皆様の事前申込みへの御協力をお願いいたします。 ・託児施設はございませんので、未就学児同行の受講はできません。 ・本学まで自家用車にてお越しの際には、誘導係の案内に従ってください。 	
申込・問い合わせ先	〒417-0801 富士市大淵 325 富士常葉大学 事務局 公開講座係 電話：0545-37-2000 FAX：0545-36-2651 E-mail：koukaikouza@fuji-tokoha-u.ac.jp	

日時 **10月27日(土) 10:30～**

総合経営学部 教授 **竹安 数博**

講演 **1** **モバイル・マーケティングの現状と今後**

インターネット接続形態電話(ケータイ)の登場により、マーケティングの新たな展開が始まった。ここではケータイの長所と欠点、各場面に広がるケータイの使い方、ケータイにおける提供サービスの分類等を押さえた後、モバイルを用いたクーポン・マーケティングについてその特徴を従来のマーケティング手法と比較して分析する。情報セキュリティについても言及する。



竹安数博 プロフィール

専門 時系列解析、マーケティング
担当科目 経営情報システム、電子商取引特論 I 流通と情報
著書、業績等 「新しい経営情報システム」中央経済社
 「新しい経営・経済数学」中央経済社
 「現代マーケティング」中央経済社
 「TIME SERIES ANALYSIS AND ITS APPLICATIONS」
 Osaka Municipal Universities Press

富士常葉大学 総合経営学部 教授 工学博士
 京都大学大学院工学研究科修士課程修了
 さくら総合研究所 システムコンサルティング部 第三部長

社会環境学部 講師 **河本 尋子**

講演 **2** **地域防災計画と災害対応**

災害対応は、市民に対する自治体の責務として、その内容が地域防災計画にまとめられています。さまざまな自治体において、地域防災計画を改善して本番に備える取り組みがなされています。今回はその事例をご紹介します。



河本尋子 プロフィール

専門 社会心理学、災害心理学
担当科目 社会心理学、環境社会心理学
 防災社会心理学
著書、業績等 「逆算式アプローチによる
 「とりまとめ報」作成手法の提案
 —効果的な状況認識の統一の実現—」
 地域安全学会論文集、No.12
 pp.433-442, 2010 (共著)

富士常葉大学 社会環境学部 講師
 東京女子大学文理学部心理学科卒業。京都大学大学院情報学研究科(社会情報心理学分野)修士・博士課程修了、博士(情報学)

日時 **10月27日(土) 13:00~**

総合経営学部

准教授 **文 載皓**

講演**3** **サムスン電子の経営戦略**

最近、日本企業の競争優位性がますます低下しています。特に、グローバル化と情報化を特徴とする経営環境の激しい変化への確かつ迅速な対応を問われています。今回の講義では、これらの日本企業の課題を探る突破口として家電・携帯電話・半導体などの分野において最近猛威的に競争優位性をつけているサムスン電子の経営戦略を取り上げます。かつてこれらの分野は日本企業が得意としている分野として日本人の誇りとしたものでした。とりわけ、今回の講義では、サムスン電子の人的資源管理を中心にその強さの秘訣を探ることにします。



文載皓 プロフィール

専門	CSR(企業の社会的責任)、経営戦略論
担当科目	経営戦略論、企業倫理、経営管理論、韓国語
著書	「企業倫理とコーポレート・ガバナンス」(共著) 「CSR グランド戦略」(共著) 「オンデマンド自体における企業経営」(共著)

2005年4月 富士常葉大学総合経営学部准教授(現在に至る)
2008年4月 明治大学商学部招聘特認研究員(現在に至る)
2011年4月 日本経営倫理学会理事(現在に至る)

社会環境学部

教授 **山田 辰美**

講演**4** **富士山の不思議と魅力**
—世界遺産をめざして—

富士山には多くの人に知られていない神秘的な現象がある。幾つもの富士山の自然の不思議を分かりやすく解き明かしていきます。富士山の魅力を知って、改めて富士と共に生きる幸せを分かち合いましょう。



山田辰美 プロフィール

専門	応用生態学、環境教育学
担当科目	ビオトープI・II、環境教育論、現代社会と科学技術 農地・森林環境の再生、多自然川作り
著書、業績等	「不思議な植物・竹」 「農村自然環境の保全・復元」 「ビオトープ教育入門」 「富士山自然大図鑑」ほか

1998年~環境省自然環境保護推進委員 2003年~富士学会監事
2007年~富士常葉大学教授
2008年~富士常葉大学環境防災研究所副所長、静岡県環境審議委員

日時 **10月28日(日) 5:10:30~ / 6:13:00~**

保育学部

教授 **稲葉 光彦**

講演**5** **復興に見る日本の「共生力」**

東日本大震災は、地域社会におけるコミュニティの大切さを再認識させる契機となり、家族の大切さや地域社会のつながりを改めて重要視することとなりました。そして、相互協力関係、相互扶助関係の重要性を再認識することになりました。今回の震災により、お互いに助け合い温かい社会を今まで以上に求め始めています。今こそ、お互いの心の絆の大切さと励ましあう「共生社会」の構築が求められるのではないのでしょうか。



稲葉光彦 プロフィール

専門	社会福祉、社会保障、法制史
担当科目	社会福祉、福祉行政論、社会保障制度 法学、政治学
著書	「日本社会福祉制度概論」 「窮民救助制度の研究」 「政治学概論」 「社会福祉を学ぶ」

富士常葉大学 保育学部 教授
慶應義塾大学大学院 法学研究科博士課程 修了 法学博士

保育学部

准教授 **田口喜久恵**

講演**6** **「共生」の身体知**
—身体が紡ぎだす共感性—

今さかんに「共生」が叫ばれています。我々はともすれば意識的あるいは言語化されたもので「共生」を考えがちです。しかし深い悲しみの時は肩を抱き、喜びの歓喜には手を取り合い飛び跳ねます。そういった言葉ではなく身体で表現される無意識下にある「共生」の身体知について考えてみたいと思います。



田口喜久恵 プロフィール

専門	健康教育学
担当科目	保育内容研究健康、幼児体育 子どもの健康と運動
著書	「日本近代黎明期における健康教育の研究」 風間書房(2010年)

富士常葉大学 保育学部 准教授、博士(教育学)
東京教育大学卒業、
静岡大学大学院教育学研究科 修士課程修了
日本女子大学大学院人間社会研究科 博士課程修了
国立教育研究所(現国立教育政策研究所)共同研究員
愛知教育大学(非常勤講師)、徳島大学大学院(非常勤講師)

